

相談や、区内3ヶ所の実施医療機関を紹介している。独自助成については、都の制度が拡充されており、推移を見守っていく。集積所のカラス対策を問う

【問】集積所のカラス対策として、軽量で折り畳みが簡単な「折り畳み式ごみネットボックス」が普及している。地域を決め、モデル的に実施してはどうか。

【環境】「折り畳み式ごみネットボックス」「巻取り収納できるネット」等の効果を検証しながら、導入を検討していく。

**発達障害児への支援の充実を**

【問】乳幼児期から社会進出期までの年代別に個別支援会議を開催し、継続的支援に取り組むべきと思うが、区の見解を伺う。

【教育事業】今年度「就学支援シート」を作成し、乳幼児期から学齢期へ円滑に移行する仕組みづくりに取り組んだ。来年度は小・中学校で「個別支援会議」を開催、「個別の教育支援計画」を作成、支援していく。高等学校、社会進出期では、関係者等による「足立区特別支援教育連絡会」と連携し整備していく。子どもの居場所づくりを問う

【問】「放課後の子どもの居場所づくり」の平成19年度実施のモデル校6校の取り組みが重要であるが、平成20年度以降の実施計画を伺う。

また、人材の確保及び資質の向上・安全管理・プログラムの充実・学童クラブとの一体的あるいは連携した運営の仕組みづくり等にどう取り組むのか伺う。



【教育長】本事業は地域の方々のサポートにより、安全な居場所づくりをすすめる、極めて有意義なものである。モデル事業の状況を踏まえ、学童保育との連携等、従来の事業との調整を図りながら、平成20年度以降の実施計画を早急に定めていく。

また、地域の協力が不可欠である。安全管理やプログラムも含めた研修会等を行い、人材確保に努めていく。

1年間で200億円もの基金積み増しは、明らかに異常

【問】区長は、本会議のあいさつで23区平均ではまだ少ないとしているが、今年度末の基金残高は647億円、23区トップクラスである。区民は増税や介護保険料・国民健康保険料の値上げ等の負担増に襲われ、苦しみの声をあげている。1年間で200億円以上の積み増しは明らかに異常であり、区民を犠牲にした「貯め込み」だったのでないか。

【区長】「未来の区政に責任を持つ」ためには、長期的な展望を持ち、将来の行政需要に備えることが必要である。この基金は、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業や学校改築等、区民の安全や生活に不可欠なものである。引き続きかかるべき備えとして積み増しを行っていく。

【問】今年も多くの区民が増税となる。昨年65歳以上の高齢者1万3千人が、収入が増えなくとも非課税から課税となったが、今年も税負担がさらに増える。例えば、年一人1万2千円の手当を支給して、負担増の痛みをやわらげることを行っているのか。

【福祉】平成18年度から実施された高齢者の非課税措置の廃止等は、持続可能な制度の構築のために、広く薄く負担を求めざるを得ない。平成19年度の定率減税の廃止は、暫定的に導入された軽減措置を廃止し、従前の税負担に戻すものである。したがって、痛みをやわらげる新たな手当の支給は考えていない。

この方針は堅持していく。みんなの住区センターではなくなったという声をどう考えるか

【問】昨年、住区センターの使用料を一部有料化し、団体間に不公平が生じた。加えて、申請や使用料の振り込み等の手続きが煩雑になった。もう、みんなの住区センターではなくなくなったという声があがっている。こうした実態を区はどう考えるか。

【区民】受益者負担及び公平性の原則により、平成18年度から団体利用を有料としたが、一部団体の免除規定を設けている。使用料の徴収方法は、住区センター設置の性格上、金銭出納員の配置ができないため、現行方式をとっている。

【子育て】中学校3年生まで通院医療費も無料化するためには、大きな財政負担が必要となることから、医療費の推移と財政状況をしながらの検討課題とする。区内業者育成のための支援策を強化すべき!

【問】区は、区内業者優先をかけたが、「官から民へ」の「構造改革」の流れの中で、区内業者が参加する契約案件そのものが少なくなり、大企業に仕事が流れていく状況が広がっている。こうした点を改め、産業経済施策を洗い直し、強化すべきだがどうか。

【総務】区内経済の振興と区内業者育成の観点から、区が発注する契約案件は、区内業者が対応可能なものは区内業者が優先的に競争参加できるようにするとともに、受注機会拡大のため、分離発注に努めている。今後も



【問】障害者自立支援法の最大の欠陥である応益負担の撤回を国に申し入れるべきだがどうか。

また、「三障害の制度の一元化」を基本的理念のひとつにあげているが、現在策定中の足立区障害者計画に理念を移行する計画を盛り込むべきである。特に、遅れている精神障害者の所得保障も早急に計画化すべきだがどうか。

【福祉】皆で負担し支えあうという法の趣旨から、撤回を国に申し入れる考えはない。また、「あだちノーマライゼー



ション推進プラン06/11(中間報告)」の第3部「足立区第1期障害福祉計画」の中で、三障害一元化への対応と庁内推進体制について検討すると、計画に位置づけている。

特に、精神障害者の所得保障は、「心身障害者福祉手当」が支給されるよう今後も都に要望していく。

【問】教育長は、学力テストで予算に差をつける方針について、「はっきり言ってダメなところは校長の熱意もいまいちだし、教員の態勢だってちゃんとできていない。」と経済誌で述べている。あの学校はダメと決めつけて予算に差をつけることは、教育者として行うべきことではないと思うがどうか。

【教育長】各学校は、「特色ある学校づくり予算」を活用し、授業の改善や教員の指導力の向上、特色ある教育活動等、学校改革に取り組んでいる。こうした取り組みについて、区内109校を捉えて要望を続けていく。

【危機管理】以前から警視庁へ要望しているが、今後とも機会を捉えて要望を続けていく。

**日本共産党足立区議団**

ないのはお金ではなく  
区民を支えようとする心です

日本共産党  
鈴木 けんいち 議員

**足立区議会民主党**

日暮里・舎人ライナー開業に備えよ!  
子育て支援の一層の充実を!

民主党  
米山 やすし 議員

休日開庁を拡大すべきである  
【問】第4日曜日の休日開庁を拡大すべきと考えるがどうか。

【区民】平成18年1月から19年

**足立区議会民主党**

日暮里・舎人ライナー開業に備えよ!  
子育て支援の一層の充実を!

民主党  
米山 やすし 議員

休日開庁を拡大すべきである  
【問】第4日曜日の休日開庁を拡大すべきと考えるがどうか。

【区民】平成18年1月から19年